

全194社の対応を調査

# IFRS任意適用企業 の開示分析

第1章

この1年で40社が適用  
新規任意適用企業の一覧と  
初度適用時の開示パターン

第2章

IFRS15号適用の181社の動向は？  
注記事項の開示状況

第3章

金融商品関係の免除が増加  
初度適用時の免除規定の選択状況

第4章

収益、当期利益等の増加・減少要因は？  
調整表に関する開示状況

有限責任監査法人トーマツ 公認会計士

松澤 伸  
矢内 隆一  
赤羽 応介  
加藤 新

昨年(2018年9月10日号(No.1522))に引き続き、IFRS任意適用企業の開示分析をお届けする。今回の分析対象企業は2019年3月期までに適用・開示した194社で、適用済企業が200社を突破するのも目前の状況だ。

今回は、IFRS15号「顧客との契約から生じる収益」の強制適用が始まり、その開示動向や事例も盛り込んでいる。今後の実務の参考にしていただければ幸いである。